

9/8(木)

【分科会 2】精神障害をもって働く仲間と考えよう ～働き続けるために必要なもの～

黒石文・萩原康博・藤田彰宏・山勢恵太、ほか（働く人のミーティングCAT）
伊藤友里・大島みどり・新妻未来（NPO法人NECST 障害者就職サポートセンタービルド）

本分科会は、障害者就職サポートセンタービルドにて毎月行われている、働く人のミーティング CAT から有志をつのり実行委員会をつくって、企画から取り組みました。

昨年も分科会を担当させていただきましたので、実行委員会ではまず昨年の振り返りからはじめました。昨年の反省点として、グループディスカッションであまり活発な討議が出来なかったという声がありました。

そこで今回は、グループディスカッションのテーマを絞り込み、ゴールの明確化を図りました。そのための工夫として、「働き続けるために必要なものベスト3を決める」というテーマに設定し、より具体的な案が出やすいような枠組みを作りました。また、昨年同様に意見を出してもらう糸口になるように、始めに当事者 2 名の発表もしてもらうことにしました。今回の一番の狙いは、ありきたりの意見ではなくて、よりリアルな声や自分なりの工夫が出ることです。支援者の参加も見込まれましたが、あくまで「自分も働く人の一人」という立場で参加していただくことにしました。また各グループの進行役にはメインとサブをつけ、軌道修正がしやすいようにと考えました。

しかし、結局は1グループに進行役 1 人の配置になってしまいました。平日の日中にもかかわらず、たいへん多くの方が参加していただき、最終的に参加者が 94 人と聞いています。空間としては手狭な感じになってしまったと思います。

さて、実際には、グループディスカッションでグループごとのばらつきもあったようですが、概ね活発な討議が出来たのではないかと思います。「働くために必要なものベスト3」については、以下の通りです。今後はこの意見をもとに話し合い分析してみたいと考えています。

働き続けるために必要なものベスト3		
第1位	第2位	第3位
体調、心の状態の管理	相談できる人をつくる。そのために相談できる自分であると良い	適切な自己主張
支え	自己管理	夢や目標、趣味
体調管理	息抜き	お金、相談、友人と家族
人間関係、仲間	家族、相談相手、事業主の理解、サポート	仕事へのやりがい、目標、将来への希望
気持ちは60%くらいで	ほめられる事	安心できる衣食住、相談できる相手
人間関係	体調管理	気分転換
健康	仲間	達成感、趣味、出会い、目標、夢
広い意味でのサポーターをつくる	適性に合った職場で、上司の理解が得られること	ペース配分をつかんで、自己管理をしていく
超える瞬間に出会う	自宅に近い	良好な人間関係

≪大島みどり（NPO 法人 NECST 障害者就職サポートセンタービルド）≫